

2014 DAIWA KAWAHAGI OPEN

2014 ダイワカワハギオープン



決勝大会 大会結果

開催日	2014年11月8日	天候	曇り時々雨
開催場所	久比里(竹岡沖)	気温	18.0℃
参加人数	13名	水温	19.5℃



雨の心配もされていたが、11月8日(土)に予定通り決勝戦開催となった。
東海チャンピオンシップは、荒天の影響で中止となったため、決勝大会は、関東大会を勝ち進んだ12名と、前年度チャンプの堀江晴夫選手を含めた合計13名で実施となった。

毎年盛り上がりを見せる釣り座抽選では、一次予選、二次予選ともにトップ釣果で通過した坂井健二選手が右舷のミヨシを引き当てる。注目の女性ファイナリスト、柳澤葉子選手は左舷のトモ2、昨年3位の宮澤幸則選手は左舷の大ドモに入った。昨年のチャンプ、堀江晴夫選手は右舷の5となった。

右舷の選手



左舷の選手





朝から11時までは下げ潮。艫有利の状況の中、開始直後よりスタートダッシュしたのは、左舷大ドモの宮澤幸則選手。他の選手が苦戦する中、9時前にはツ抜けする、一人別次元の釣れっぷり。ワッペンサイズにターゲットを絞り、確実に釣り上げていく。

これには、船中の審判や報道陣も誰もが驚嘆した。この後もペースが止まらない宮澤選手を他の選手が追う展開が続く。あれよあれよという間に11時前には30枚を超える爆釣ぶりを見せた。

前半は宮澤選手に続き、左舷のミヨシ、増澤選手、石田選手、胴の間の野中選手など比較的左舷の選手の釣果が伸びた。



宮澤選手を筆頭に釣り上げていくトモ側の選手。

11時を過ぎて、下げ潮が止まり、上げの潮が入り始めると右舷側にもようやくカワハギが回ってきた。中でもミヨシの坂井選手、中園選手が数を伸ばしていく。昨年チャンプの堀江選手は懸命に掛けていくが、ベラ、トラギスに邪魔をされなかなか釣果が伸びない。

宮澤選手のペースも止まり、他選手の追い上げが始まるかと思いきや、12時を回るとゲストも当たらないこう着状態が続く。

このまま、試合終了となり、検量の結果、宮澤選手が前半の好調をキープしたまま、52枚という驚異的な釣果で悲願の初優勝。他の選手を寄せ付けない圧倒的な勝利となった。

2012年の決勝進出となった石田選手が26枚で準優勝。増澤選手が21枚と僅差で3位に滑り込んだ。



ワッペン中心だが時々、良型も混じる展開となった。



後半、左舷の選手も必至に追いかける

宮澤選手、驚異の釣果。

ご協力いただいた巳の助丸さん、山下丸さん、やまてん丸さんには感謝申し上げます。

東海チャンピオンシップは天候により中止となりましたが、また来年のチャレンジをお待ちしております。

またこれまでご参加いただいた全選手の皆様にも、この場をお借りして御礼申し上げます。来年もスタッフ一同さらに良い大会になりますよう努力する所存です。これからもよろしくお願いいたします。



優勝:宮澤 幸則選手

無冠脱出！良かったです。

エサを手配いただいたり、プラにも付き合っていたりといろんな方に助けられて、このような釣果を出すことができました。

今年こそ優勝を！と思い、真剣に、他の人は見ない様に釣りました。

錘を置くより、錘を切って、常に動かしばなしでワッペン狙いに絞りました。

どこかで遊びは入れないといけないので長めのハリスを使いました。

林さん、堀江さんと優勝してきたので、今回、何とか優勝できてよかったです。来年もコツコツと積み上げて結果を出していきたいです。

準優勝:石田 昌伸選手

取り合えず、アタリが出ず、立て続けに釣れることが無かったので、投げて釣りたいところだったが、ずっと船下に狙いを絞ってやっていた。仕掛けは、あまり揺らさず、フワフワさせるとアタリがあり、その釣り方を続けました。自分の信じた釣り方を貫いてこのような結果を出すことができました。来年は1次予選がないのが一番うれしいです。



3位:増澤 始選手

隣の石田さんと正反対の釣りをしていたんですが、石田さんの釣りを参考に、自分の釣り方を捨てて、あまり得意でない宙釣りに絞ったことが今回の釣果につながりました。

なかなか小さいサイズはフッキングが難しかったので、ゆっくり誘い下げて大物を狙うこともあり、試行錯誤しました。














来年も宮澤さんを目指して頑張りたいです。



船最前線
FUNESAIZENSEN

また、船最前線ブロガーも決勝戦の戦況をアップしています。
「船最前線ブログ」へは、こちらをクリックください。

みよし

	枚数 21	3位 増澤 始 選手 左-1		右-1	5位 坂井 健二 選手	枚数 20	
	26	準優勝 石田 昌伸 選手 左-2		右-2	11位 平本 光洋 選手	15	
	17	9位 安藤 照章 選手 左-3		右-3	13位 遠山 靖 選手	10	
	20	4位 野中 篤 選手 左-4		右-4	6位 中園 智晴 選手	20	
	20	6位 柳澤 葉子 選手 左-5		右-5	10位 堀江 晴夫 選手	16	
	52	優勝 宮澤 幸則 選手 左-6		右-6	12位 牛山 和彦 選手	14	
				右-7	8位 橋本 聡 選手	19	

順位	お名前	住所	釣座	匹数
優勝	宮澤 幸則	東久留米市	左-6	52
2	石田 昌伸	大田区	左-2	26
3	増澤 始	横須賀市	左-1	21
4	野中 篤	武蔵野市	左-4	20
5	坂井 健二	鶴ヶ島市	右-1	20
6	柳澤 葉子	市川市	左-5	20
6	中園 智晴	江東区	右-4	20
8	橋本 聡	海老名市	右-7	19
9	安藤 照章	君津市	左-3	17
10	堀江 晴夫	横浜市南区	右-5	16
11	平本 光洋	横浜市港北区	右-2	15
12	牛山 和彦	横浜市鶴見区	右-6	14
13	遠山 靖	日野市	右-3	10

※敬称略

※コンピューターの表示のため、旧漢字等を修正させていただいております。予めご了承ください。

※釣った魚の総匹数で順位を決定いたします。同匹数の場合は、5位までは、釣った魚1匹の最大重量で決定いたします。

※決勝大会の優勝者には次年度決勝大会のシード権が、2位・3位には二次予選又は東海決勝のシード権が与えられます。